

令和8年度 北海道札幌西高等学校 学校経営シラバス

【基本的な考え方】

- 「北海道教育の基本理念」及び「石狩管内教育推進の重点」を踏まえる
- 生徒、保護者の期待及び地域住民や道民の負託に応える
- 全・定の有機的な連携を図る
- 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に「満足度日本一」を目指す

【スクール・ミッション】

- 1 日本のリーディングハイスクールを目指し、校訓「自由 自律 叡智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやる やれるだけやる」で表される自由闊達な校風の継承
- 2 海外研修や理数系コンテストへの参加、大学と連携した医療系人材プログラムの実施など、北海道の高等学校教育をリードする役割を担う、先進的な教育活動の推進
- 3 次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的な価値の創造と科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成
- 4 多様化する国際社会において主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成

【校訓】

自由 自律 叡智 創造

【学校教育目標】

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育
- 2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長をめざす教育
- 3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育

【育成を目指す資質・能力に関する方針】

- 1 創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備え、持続可能な社会の実現にリーダーシップを発揮できる人材の育成
- 2 多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けた次代を担う人材の育成

【教育課程編成・実施に関する方針】

- 1 深く、しっかりとした学びを推進し、幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図る
- 2 「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、教科横断的な視点で学習の深淵を極め、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成する
- 3 学校行事や生徒会活動など特色ある教育活動等を通して、チャレンジ精神を高め、主体的・協働的に取り組む姿勢を養う
- 4 大学研究室訪問などの「科学技術系人材育成プログラム」や医学セミナーや地域医療体験活動などの「医療系人材育成プログラム」などの大学と連携した教育活動を通して、好奇心や学習意欲を高め、自ら学び、考える自走できる力を身に付ける
- 5 海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学などの教育活動を通して、グローバルな視野を高め、多面的で多角的な見方や考え方を身に付ける

【入学者受入に関する方針】

- 1 学業、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
- 2 旺盛な知的好奇心を持ち、自らの能力を活用して社会に貢献しようとする高い志をもっている生徒
- 3 国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要とされる資質・能力を高めたい生徒

【経営方針】

- 1 協働体制の確立による校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、「働き方改革」を推進する。
- 2 教育DX化による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、育成を目指す資質・能力を確実に育む教育課程の改善・充実に努める。
- 3 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に、保護者や地域住民の視点や、全国的に優れた教育実践等を参考とした改善を進め、学校の更なる魅力化を推進する。
- 4 地域や企業、高等教育機関等との連携の強化による探究的な学習やキャリア教育の充実を図り、入学から卒業までの体系的で継続性のある教育活動を展開する。

【中期目標】

- 1 スクール・ミッションの確実な遂行
 - ・「日本のリーディングハイスクール」にふさわしい取組の充実
 - ・「次代を担うグローバルリーダー」の育成に向けた取組の強化
- 2 次のステージに向けた強固な土台の構築
 - ・研究指定事業を活用した新たな教育モデルの構築
 - ・2040年も輝く学校であるための改革推進

【重点目標】

- 1 働き方改革の推進
 - (重点事項1) 協働体制の強化
 - 学年、分掌、教科、部活動の各チームにおいて、互いに業務の進捗状況を確認し合い、必要に応じて業務の分担を見直すとともに、見通しと共通の目標を持って業務を遂行する。
 - (重点事項2) 教職員の意識改革
 - 一般市民の目線を意識し、保護者や地域住民の視点で考えとともに、教師のこれまでの働き方を見直しながら、授業改善を通して授業の質を高め、思考力・判断力・表現力を育む「深い学び」の実現を目指す。
- 2 生徒の資質・能力の伸長を図る学習活動の充実
 - (重点事項1) 「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体的な充実
 - 65分授業での探究的な学習活動の時間を確保による主体的・対話的で深い学びの実現と協働的な学びの充実を図るとともに、ICTを効果的に活用した学習課題の工夫により主体的・対話的で深い学びと個別最適な学びの充実を図る。
 - (重点事項2) 授業と個別学習を有機的につなげた学習体制の確立
 - 学習評価の工夫により学力の定着と学習意欲の向上を図るとともに、生徒会・HR・部活動等を通してリーダーとしての資質・能力を育成し、学校と家庭の学習の特長を生かした資質・能力の伸長を目指す。
- 3 魅力ある学校づくり
 - (重点事項1) PTAや学校運営協議会など関係団体等との連携
 - 教育方針や特色ある教育活動、学校評価などについての学校運営協議会の意見を把握し、教育活動の改善を進める。また、様々なPTA活動やホームページ等を活用した広報活動を通して、生徒の状況や教育活動の現状について情報発信し理解や協力を得る。さらに西高会、輔仁会、後援会などの支援団体から生徒の教育活動に対する支援体制を確立する。
 - (重点事項2) 法令遵守と説明責任の徹底
 - 法令や通知等を遵守するとともに、家庭や地域への適切な情報提供に努め、インターネットやSNSの適正な利用に関する情報モラルの指導を通して信頼される学校づくりを推進する。
- 4 体系的な教育活動の推進
 - (重点事項1) 探究的な教育活動の充実
 - 課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の過程を重視した探究活動と各教科の学習を結び付けて指導し、生徒の主体的及び探究的な学びを促進するとともに、課題発見・解決力や論理的思考力、コミュニケーション力、表現力などの資質・能力の育成を図る。
 - (重点事項2) キャリア教育の充実
 - 大学の専門的な学びや教育研究にふれることを通して、職業観や勤労観を高めるとともに、主体的に科学を究め、生徒の学習意欲や進路意識を高めることを目指した高等教育機関等との連携を進める。